

2014年(平成26年)9月29日(月) NO 78号

# K-PURO NEWS

## 【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	<a href="http://www.k-puro.co.jp">http://www.k-puro.co.jp</a>
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県川口市芝塚原 2-3-11 エステートミア	TEL 048-261-3412
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

## 【業務内容】



機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い



## 【加盟団体】

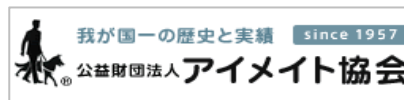


RID2770	川口モーニングロータリークラブ	<a href="http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/">http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/</a>
NPO 法人	さいたま起業家協議会	<a href="http://www.saitama-kk.org/">http://www.saitama-kk.org/</a>
公益社団法人	千葉東法人会青年部	<a href="http://www.chibahojin.jp/">http://www.chibahojin.jp/</a>
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	<a href="http://www.rinri-chiba.org/">http://www.rinri-chiba.org/</a>
NPO 法人	日本危機管理学総研	<a href="http://www.kikikanri.jp/">http://www.kikikanri.jp/</a>
公益財団法人	モラロジー研究所	<a href="http://www.moralogy.jp/">http://www.moralogy.jp/</a>

## 【応援団体企業】



Voice Creation  
**Sucre** ボイスクリエーションシユクル



## ごあいさつ

50歳を迎える本年。  
最近、中学や高校の同級生たちと会う機会がやたらと多くなりました。  
東京大学の教授をはじめ、都市銀行の支店長、プロレスラーや会社を起業した者、家業を継いだり、レストラン経営者や歌手になった者、団体の職員やサラリーマン、パート等々、みんな様々な人生です。  
お互い老け顔になりましたが、会うといつまで経っても同級生は同級生のまま・・・。  
この関係に上下の隔たりは存在しません。  
仕事も落ち着き、子どもも成長して手が掛からなくなり、心に少しゆとりが出来始めているのかも知れません。  
同じ時期を一緒に過ごした友人は、本当に大切な宝です。  
お互いを尊重し合い、生涯、思いやりの持てる良い友でいられたらと思います。

代表取締役 木戸 良樹

## 現代の偉人 浅利 妙峰（糀屋本店女将）



大切なのは、幼い頃から、人を思いやる心、故郷や地域を思う心などを育む教育ですね。

先般、福井県に講演に行った際にも、そのことの重要性を改めて実感する出来事がありました。

福井県の偉人に明治維新で活躍した橋本左内という人がいますが、彼が15歳の時に書いた『啓発録』には、自分を奮い立たせる5つの行動規範が挙げられています。

すなわち、

「稚心を去れ」「気を振るえ」「志を立てよ」「学に勉めよ」「交友を択べ」の5つ。

そして、福井県内のほとんどの中学校では、いまでも橋本左内の教えを守り、14歳になる2年生の時に志を立てることの大切さを教える「立志式」を行っているといえます。

私が講演に伺ったのは、保険のトップセールスをされている方々の勉強会でしたが、その懇親会の席で、「なぜ皆さんは保険の仕事を選ばれたのですか」と聞いてみました。すると皆から一様に返ってきたのが、「人の役に立ちたいから」という答えだったんですね。実は福井県は学力とスポーツ、住みやすさでも全国でトップクラスということですが、そのすごさの秘密が分かった瞬間でした。

もう一つ、道徳心の大切さを教えるお話としては、戦後の旧西ドイツの復興があります。当時首相だったアデナウアーは、自分の執務室に日本の『教育勅語』のドイツ語訳を掲げ、皆にその精神を広めていたといえます。

『教育勅語』に書いてあることは、親や祖先を大事にしましょう、兄弟は仲良く、夫婦は仲睦まじく、勉学に励み、広く世の中のために尽くす、といったことですね。

一説には、『教育勅語』があったから、西ドイツは日本よりも早く復興できたとも言われています。私もまた、『教育勅語』に書いてあるように、世のため人のために生きることこそ、自分の命を輝かせて生きることなのだ、と、子供が小さい頃から耳が痛くなるぐらいに伝えてきました。

自分のことだけでなく、“誰かの役に立ちたい”と自ら考え、行動を起こせる習慣が子供の頃に身につけば、実社会に出ても逞しく生きていくことができるはずですよ。

子供が将来どんな職業に就くかは分かりません。ちょっとした思いやりで人間関係を良好にしていく。自分のいる場をよりよくするために努力し、最終的には世の中のため人のためになることを進んで実践する人に育ててほしい。そう願って私は子供たちに向き合ってきました。

そして何より子育てで気をつけたいといけないうのは、母親が自分の子は必ずよい子に育つという強い意志と確信を持つことです。やっぱり私の子だから無理だとかダメだとか言ってしまったらお終いです。子供は親に掛けられた言葉どおりに育つのです。

だから、あなたはすごい、さすが私の子供やね、といつも語り掛けてあげること。

高校生や中学生でも遅くはありません。あなたは大き器晩成なんだからって言い続けてください(笑)。そうすれば、必ず将来大きな花が咲きますから。



記事提供 到知出版社

## 今月の良い話 幸せの掛け算

おおきくなるっていうことは ようふくがちいさくなるってこと。  
おおきくなるっていうことは あたらしい はが はえてくること。  
おおきくなるっていうことは みずに かおをながく つけられるってこと。(中川ひろたか)  
これは、ある絵本の一節です。

小さな子供たちにとっての「おおきくなる」ということ  
自分の体の成長を実感することも、これまでできなかったことができるようになることも、すべてが幸せな気持ちに繋がって行くことでしょう。それは、幼いころに味わったことのある気持ちではないでしょうか。

この絵本は、次のように結ばれていきます。

おおきくなるっていうことは じぶんよりちいさなひとが おおきくなるってこと。  
おおきくなるっていうことは ちいさなひとに やさしくなれるってこと。  
おおきくなるっていうことは そういうこと。  
年を重ねるほどに増えていく、自分より年少の「ちいさいひと」に対して、「やさしくなれる」ということ。それは「心の成長」ということができます。  
一般的に、体の成長が実感できるのは成人するころまででしょう。  
しかし「心の成長」には限りがありません。  
こんな自分の成長を「幸せ」として生涯追究していったなら、どんなに喜びの多い人生になるでしょうか。



幸せには、いくつかの段階があるとされます。  
「誰かに何かをしてもらうこと」も幸せの一つでしょう。  
しかし、その幸福感は一時的なものです。  
人から「してもらうこと」を期待するばかりでは、「してもらえなかったとき」には不満が募るなど、徐々に心が満たされなくなっていくことにもなりかねません。  
先の絵本に見るように、「自分で何かをできるようにな

ること」も一つの幸せですが、それは「自分一人の幸せ」に留まることが多いものです。  
より長く続く、また、より多くの人と共に分かち合うことのできる幸せ～  
それは「ちいさなひとにやさしくなれる」という言葉に象徴されるように、「自分が人の役に立っている」と実感したときに味わう幸せではないでしょうか。

人のために自分の時間を使い、汗を流し、時にはお金を使う。  
「人のためになにかをさせていただく」「何かを差し上げる」といった場合、そうした自分の努力や苦労の結果は、自分以外の誰かが受け取ることになります。一見すると、自分は損をしているようにも見えるかもしれません。  
しかし、他人の喜びを「わが喜び」とする人は、周囲の人たちから好かれ、頼りにされるものです。そして、「あなたのことを頼りにしています」「あなたのおかげで助かりました」などと言われたら、誰もがうれしい気持ちになるのではないのでしょうか。  
誰かの喜ぶ顔を見る幸せ、誰かに必要とされる喜びは、「形のない収穫」ともいうことができるでしょう。

記事提供 公益財団法人モラロジー研究所

## 事件ファイル NO78 首都圏・危険度と侵入割合

刑法犯認知件数	平成15年	平成25年	減少数	減少率	侵入割合	平成25年	侵入盗	侵入率
全国	2,790,136	1,314,140	-1,475,996	47.1%	全国	1,314,140	107,467	8.2%
東京都	299,406	162,557	-136,849	54.3%	東京都	162,557	7,756	4.8%
千葉県	164,278	77,904	-86,374	47.4%	千葉県	77,904	8,349	10.7%
埼玉県	179,276	84,154	-95,122	46.9%	埼玉県	84,154	6,347	7.5%
神奈川県	186,290	76,962	-109,328	41.3%	神奈川県	76,962	6,004	7.8%

刑法犯認知件数は、10年前と比較すると約半減しています。  
 それに応じて危険度も減少しました。  
 何かしらの被害に遭われる確率を、東京都では平成15年は100人に2.4人だったものが、平成25年には1.2人と置き換えて下さい。  
 神奈川県は昔から治安の良い区域を表しています。警察官の数が飛び抜けて多いわけではなく、今後、この不思議な現象を調査してみます。  
 千葉県の侵入盗割合が高いのは、他県と比較して戸建が多いことが挙げられるかも知れません。

危険度	平成15年	平成25年	減少数	減少率
東京都	2.4%	1.2%	-1.2%	50.5%
千葉県	2.7%	1.3%	-1.5%	46.2%
埼玉県	2.6%	1.2%	-1.4%	45.7%
神奈川県	2.2%	0.8%	-1.3%	39.3%

- \* 刑法犯認知件数: 全ての犯罪の総件数
- \* 危険度: 刑法犯認知件数を人口比で割ったもの
- \* 侵入割合: 刑法犯認知件数中、侵入盗の割合

## プロ太の小話集 NO78 『掛け算の面接』

来春、結婚を控える信太郎は、かなり給料がいい会社の面接を受けに行った。  
 面接官は、彼に出身や学歴とかいろいろ質問した後、最後に「9×7はいくつだね？」と質問した。  
 信太郎は、「ええと・・・、64です。」と答えたのだが、終わってから考えてみると、案の定間違い。  
 「これじゃ、内定は無理だな」と思った・・・。  
 ところが2週間後、その会社から採用通知が来た。  
 さっそくその会社に出向いた信太郎が、その面接官に聞いてみた。  
 「あの掛け算を間違えたのに、どうして採用してくれたのですか？」  
 すると、面接官は肩をすくめてこう言った。  
 「君が一番正解に近かったからだよ・・・。」



今月のK-PURO ニュースいかがでしたか？  
 私事ですが、10月12日(日)21時～21時55分まで、「FM78.3 REDS WAVE」の「世界に誇る！元気印カンパニー」にラジオ出演します。  
 友人のアナウンサー佐藤恵さんにお呼ばれし、起業から現在に至るまでをお話ししてきます。今まで出演された会社で、一番小さく、一番怠け者かも知れませんが、絶対潰れない事業構築を説明できたらと思います。よかったらインターネットでお聞き下さい。再放送は、10月16日(木)10時からです。

<http://redswave.com>

注: プロ太とは、写真のK-PURO番犬です。(体長10メートル・体重1トン・無敵無敗)